 ひらはく展示+

一覧から探す

バーチャルツアーから探す

QRコードから探す

ひらはく展示+のご案内



〒254-0041 神奈川県平塚市浅間町12-41

電話：0463-33-5111 FAX：0463-31-3949

写真・文章等の無断転載を禁じます。

© 2023 Hiratsuka City Museum.All rights reserved.

1F

2F

3F

1 博物館によろこそ



- ・ 把手（とって）
- ・ タマゴタケ
- ・ 黒曜石
- ・ 畦ヶ丸型トータル岩（あぜがまるがた）
- ・ 土師器と須恵器（はじきとすえき）
- ・ タブノキの埋もれ木
- ・ イタチ
- ・ 灰釉陶器（かいゆうとうき）
- ・ レンズと鏡
- ・ プラネタリウム投影機（恒星球）
- ・ おりひめ星・ひこ星
- ・ 深海のシロウリガイ化石
- ・ タマネギ石（タマネギ状風化）
- ・ 緑釉陶器（りよくゆうとうき）
- ・ カラスの巣
- ・ 田船
- ・ コサギ
- ・ 弥生土器と稲穂
- ・ 炭化した球根
- ・ 土器のいろいろ

1F

2F

3F

 写真

 地図



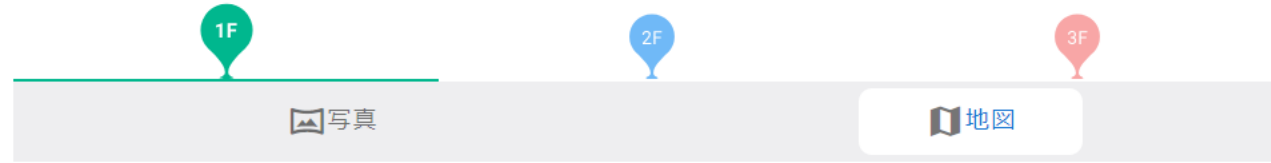
1 博物館へようこそ

 平塚市博物館
Hiratsuka City Museum

〒254-0041 神奈川県平塚市浅間町12-41
電話：0463-33-5111 FAX：0463-31-3949

写真・文章等の無断転載を禁じます。

ひらはく展示十



5 博物館にようこそ

 **平塚市博物館**
Hiratsuka City Museum

〒254-0041 神奈川県平塚市浅間町12-41
電話：0463-33-5111 FAX：0463-31-3949

写真・文章等の無断転載を禁じます。

© 2023 Hiratsuka City Museum.All rights reserved.

1F

2F

3F

1 博物館にようこそ

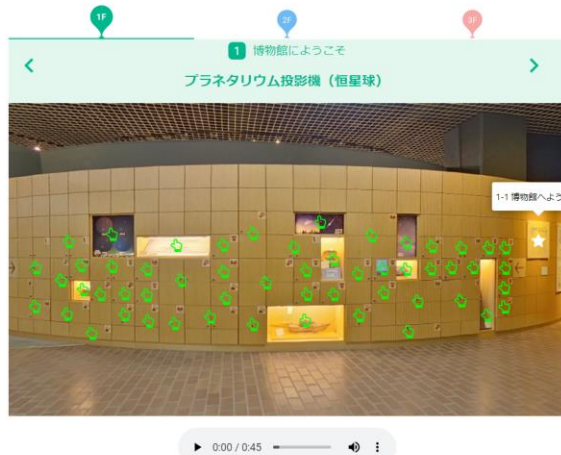


▶ 0:00 / 0:36 ———— 🔊 ⋮

博物館には、1976年の開館以来多くの資料が集められてきました。それらの資料を、調べたり、比べたり、読みとったりすることで、私たちは自分の住んでいるまちや、その近くの川や山について多くのことを知ることができます。このコーナーでは、博物館にどん

各資料の説明

ひらはく展示十



昭和63年まで使用した当館の初代投影機（機種名GX10-T：五藤光学研究所製）北半球部分。ハロゲン電球と、15本の投影筒仕込まれた原版・レンズによって満天の星空の北半球を映写していたものです。

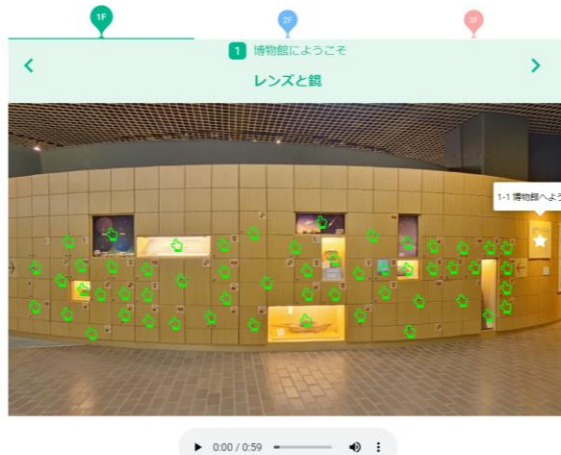
1976（昭和51）年5月の開館から1988（昭和63）年12月までの12年8ヶ月間のあいだ活躍した初代プラネタリウムです。投影機は星などの天体や夕焼け・朝焼けなどをまさに映し出すだけで、すべての操作が手動でした。

プラネタリウム室内も現在とは大きく異なり、すべての座席が投影機の方を向く同心円配列となっていました。

下の画像は、実際に当時投影しているときの様子です。



ひらはく展示十



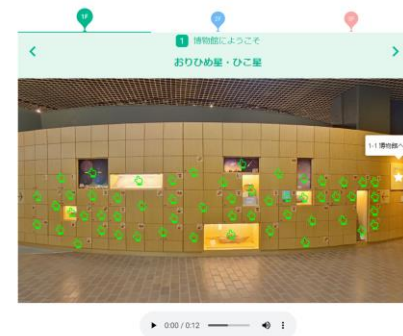
天体望遠鏡には、レンズを使った屈折望遠鏡と、鏡を使った反射望遠鏡があります。レンズは大きなガラスブロックから切り出して作り、異なる性質のガラスを複数組み合わせることで性能を向上させています。

平塚市博物館の屋上では、天体望遠鏡を使った観望会「星を見る会」を月に1回ほど実施しています。小ささまざまな望遠鏡が並び、中でも最も大きいのが、2018年の火星大接近の際に導入した口径35cmの望遠鏡です。導入にあたっては、平塚市初のカバメントクラウドファンディングを実施し、市内外を問わず多くの方からご寄附いただきました。ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。

下の画像は、平塚市博物館が所蔵する望遠鏡たちです。一番右側が口径35cmの望遠鏡です。



ひらはく展示十



天の川は本んで輝く七夕の星たち。上に見える星がおりひめ座（ベガ）、下がひこ星（アルタイル）です。星の天の川は、この2つの星を分けて、ほくちょう座の星に囲い、三角の中を流っています。